

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	小奴可地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
広島県・庄原市	340006	5	H26～H29	H26～H29
活性化計画の区域				
広島県庄原市東城町 小奴可地区 65.9ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水路施設等の機能の確保	16.7ha	16.7ha	100%	

(コメント)

農業用排水路施設の整備により機能確保される農地面積について、16.7haの目標を達成することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	農業用排水路整備 L=3115.5m		庄原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
庄原市	平成26年度	平成29年度	平成29年5月9日
事業の効果			
○地区法人名：(株)ファームサトウ 経営規模 32.9ha 栽培品目：水稲 26.9ha WCS用稲 2.3ha ○事業を契機に上記法人が設立され、農地集積に取り組むことにより、離農による耕作放棄地の拡大防止が図られた。 ○事業実施により、維持管理作業が軽減され、地域の活性化が図られ、計画区域内の定住戸数減少が抑制することができた。			

3 総合評価

本事業により、営農に支障をきたしていた土水路をパイプラインに改修したことにより、効率的な水利用による生産性の向上及び水路の維持管理の省力化が図られた。

また、事業を契機に法人が設立され、農地集積に取り組むことにより、離農による耕作放棄地の拡大防止に寄与している。今後も、法人の集積が進むことにより、地域営農の活性化が期待される。

4 第三者の意見

農業にとって機械化が最も遅れている水路の維持管理作業が、パイプライン化等によって大幅に軽減され、また送水効率の向上によって水管理に係る労働時間が短縮されたことは、単に省力化の効果をもたらすだけでなく、小奴可地区における営農意欲の維持向上にもつながったと評価できる。

(広島県土地改良事業団体連合会 事業計画評価委員会)

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
 - (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
 - (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。
 - (4) 第三者とは「当事者以外の者」「その事柄に直接関係していない人」であり、計画主体、事業実施主体、管理主体のいずれの組織にも属さない者で事業地区を熟知している者。
公務員は対象外とし、事業評価委員会等の組織を有する場合は積極的に活用すること。
- ※ 達成率等算出根拠(参考様式4添付資料)を必ず添付すること。